



414
A 805
23

總理大臣



極秘

牒報第九十六號

明治三十年八月十五日

福建省他國讓與セラル誓約ニ對スル意見

在福州 前島 真



海軍軍令部第三局

大正十一年四月
隈侯爵郵寄贈

264
9

所謂支那問題ハ其ノ速カニ挑撥セリ未ダ邊々變動ヲ起サル隱伏ト潜
勢ニ甲午ノ戦争ト共ニ勿心々爆発セラレリ歐洲列強ガ數十年ノ未來ヲ豫想
シタル支那分割問題ハ早クモ己ニ眼前ニ之カ實行ヲ見ルニ至レリ膠州灣ノ占奪ト
ナリ旅順大連ノ割讓トナリシ事ハ實ニ愈々支那帝國ヲシテ悲慘ノ危境ニ陥ラ
シメタリ是時當テ我日本帝國歐洲列國ト連鑣驅逐ノ態度ヲ執テ同
盟的ニ支那分割ヲ懲息セシムル是ハ清國ニ對テ隣邦情義ヲ破滅スル而已ナラズ
自カラ進テ東洋禍害ヲ惹起シ遂ニ自國ノ安全ヲ危カラシムル愚策ナリ故ニ
余非難日本政府ガ此旨向激怒ス際ニ當テ彼露佛獨三國ガ清國ニ於
リ暴虐ニ對シ嚴正ニ沈黙ノ態度ヲ執テ敢テ一言ノ抗議ヲ為サカ又同盟的



ノ行動ニ出サリシ假令、重面ニ於テ何等ノ事状アルモ今日の場合頗ル宜シキヲ
得ルモノト信ス況ニ日本政府袖手傍觀シテ敢テ為スナキモノニ非ス以際支那
政府ヲテ福建省ヲ他國ニ讓與セサルヲ批言シタルハ日本政府カ時勢ノ
憂遷ニ應ジテ適當ノ處置ヲ得タルモノト認ム余輩、此福建不讓與を誓
約ニ日本政府ガ單ニ我國ノ利益ヲ謀ルニ非スニテ分割ヲ豫防的ニ清國ヲ扶
植シテ將來大ニ支那南部ヲ經營セントスル目的ニ出テタルヲ知ル
日本ノ淺慮ハ政治家、我政府ガ露佛獨ノ暴戻ハ行動ニ對シ沈黙シテ
敢テ抗議セザリシヲ責ムルモアレハ是レ時勢ヲ察セザルモノ、論ニシテ素ヨリ取
ルニ足ラザルナリ三國ガ清國ニ對シテ行動ニ遼東還附時代ヨリ繼續シタル
公盟的行動ニテ膠州灣、占奪ヲ旅順大連ヲ讓與ナリ廣州灣永
借ナリ皆是レ三國ノ共謀的計畫ニテ遼東還附干渉ノ結果トシテ其報
酬ヲ得タルモノナリ故ニ我カ日本政府カ彼等ノ暴戻ハ行動ニ向テ抗議ス
是即チ日本ガ三國ヲ驅テ倍々同盟ヲ鞏固ナラシムル所以ニシテ三國ノ反抗

的ニ跋扈シ日本ノ獨力ヲ以テ三國ヲ敵トセザルハカラス國家危險甚シ是ヨリ
甚クシキモノナカルヘシ
英國ノ如キ東洋ニ於テ最大ナル勢力ヲ有シ且チ其利益ト衝突スルニモ拘ダ
ズ三國ノ行動ニ對シ絕對的ニ抗議セザリシモノ、三國ヲ敵トスルノ不利益ナルヲ察
スルナリ然レ敏捷ナル英國政府、清國ノ外債ニ於テ一方ノ債主トナリテ優清
國ニ對スル權カヲ維持セリ是レ彼ガ將來清國ノ財政紊亂ヲ破産的ニ破滅シ
場合ニ當テテ債主權者トシテ列國ノ間ニ立テ大ニ清國ヲ料理セントシテ豫期シ
テ警戒セシモノナリ故ニ余輩、日本政府カ先キ三國ト種突ヲ避テ且清國ノ將
來ヲ顧慮シテ分割ヲ豫防的ニ清國ヲ扶植スル目的ヲ以テ福建省ヲ他國
ニ讓與セザルノ誓約ヲナシタルハ頗ル機宜ヲ得タルモノニシテ一方ニ三國ノ行動
ヲ牽掣シ將來ニ向テ列國ト共ニ均等的ニ經營ヲナサシムル期スルモノナルヲ和
然リト雖此福建不讓與ハ誓約ニ他日福建ニ於テ佛國トノ衝突ヲ胚

昭々佛國が福建ニ對シテ野心ヲ包藏スルト年亦久シ馬尾造船所ヲ創立
シテ事業ヲ經營スル一茲ニ己ニ三十三年彼等カ造船所ニ於テ養成シタル勢力ハ
他日日本が福建ニ於テ施設セシムル事業ト衝突ヲ来スルヲ覺悟スルハ且此福建不讓
映テ誓約清國今日ハ狀勢ヨリスニ微力ヲ到底永久ニ確守スルヲ能ハス故日本政府福
建省ヲ他國ニ讓與セズト謂フ誓約對シテ福建省ニ於ル事物上ニ就テ實
効ヲ舉ゲザルハカラス然レバ此誓約他日或他列強カ為ニ蹂躪セラレ清
國政府他カ威迫ヲ為シ遂ニ或日本對シテ此誓約ヲ廢棄スルヤモ未ダ知ル
カザルナリ故ニ余輩日本政府カ速カニ清國政府ト商議シテ左列記スル所
實効ヲ舉ゲシテ望ム

一福建省ノ鑛山ハ日本人ニ採掘スルノ特權ヲ得ル事

福建省ニ於テ最モ有望ナルモノハ鐵鑛トス銀鉛錫石炭ノ如キモ亦多少
ノ望ナキニ非ス古田縣產出鐵鑛現ニ造船所ニ於テ使用シテアリ嘗テ報
告シタル如ク同所需用ノ原料古田產ノ鐵十中七分ヲ占ム福建ノ

鐵鑛ニ富リテハ事實ヲ證明スル所ニシテ未ダ詳細ニ調査ヲ經カレハ將

來ニ於テ採掘セラレシムル長樂穆源ノ如キ特ニ有望ナル鐵鑛ナリト云フ

一福建省ノ鐵道ハ日本人ニテ布設スルノ特權ヲ得ル

福建省ノ鐵道今日之ヲ布設スヘキ非ズ將來鐵道ヲ布設スヘキ時域

ニ達セバ必ず日本人ニテ布設スルヲ清國政府ニ誓約セシムルニ想フ將來

支那南部ヲ經營セント欲ス廣東ヨリ起テ福建浙江兩省ヲ一貫シ

上海ニ達スル鐵道ヲ布設スルノ豫期ヤサルハカラズ

一福建省各官立學堂ニ教師トシテ日本人ヲ招聘セシムル事

現ニ福州ニ在ル大小各官立書院本年四月廿五日(清曆閏三月五日)
ノ上諭ニ基キ一律ニ學堂ト改稱シ從來ノ學務ヲ刷新シ大ニ歐洲文明
ノ學ヲ講究スルノ目的ヲ以テ昨今己ニ之カ改革ニ着手セリト云フ以機ニ來
シテ我日本人ヲ教師トシテ招聘セシムル亦福建不讓映ノ誓約ニ對スル
實効ヲ舉クニ決シテ必要ナル事ニ非ズト信ス

一福建省各稅關及郵政局電報局各々ニシテ日本人ヲ入ルル事

夫レ清國ノ稅關殆ド英國人ノ專有ニシテ條約港トシテ稅關到ル處英國人ノ支配セラルル其他ニシテ外國人モ使用セラルラザレ今日英國人ノ勢力ヲ日本人ヲ入ルルヲ承諾セザルニ然レモ福建省不讓手ノ誓約對スル一條件トシテ日本人ヲ入ルルヲ斷行セザルベカラズ

郵政局電報局如キモ交通機關發達ト確實ヲ期スルガ為ニ之カ管理者トシテ日本人ヲ入レザルベカラズ日尺亦福建不讓英ノ誓約對スル事實効ヲ舉ゲル一ナリ

更ニ進テ満足スル要求ヲ得ント欲セ馬尾造船所ノ佛國人ヲ裁撤シ之ニ更ユルニ日本人ヲ以テスヘキト是ナリ此事頗ル至難ノ要求ニシテ今日ノ場合到底行フベカラザルノ要求ナリ何トシテ造船所ノ佛國人ノ技能ニ依テ創立セシ且巳ニ三十餘年間養成シタル彼等ノ勢力今日英國人ト雖尺一歩ヲ入ルル能ハザレナリ故ニ今遽カ日本人ヲ入レト欲セ是即テ正面ヨリ

佛國ト衝突ヲ来ス所以ニシテ今日此ノ造船所ヲ爭フカ為ニ佛國ト紛議ヲ醸スカ如キ頗ル不利益ナリト信ス然レモ清國政府ニシテ經費缺乏ノ造船所ヲ維持スル能ハ佛國人ノ對スル報酬ヲ支辨スル能ハザルニ至レバ彼等必ス自國ノ資本ヲ投シテ其事業ヲ繼續シ擔保トシテ永久ニ造船所ヲ占有スヘキナリ是レ今日ノ事狀ニ於テ疑フベカラズ理ナリ故ニ我が日本政府之點ニ於テ今日充分ニ清國政府ニ忠告シ之カ警戒ヲナサント我政府之傍觀的ニ思召シテ造船所ノ事業ニ暫ラシ佛國人ノ為ス所ニ任スニ然リ而シテ彼等カ清國政府ト約束スル五十年ノ期限満テ待テ直ニ清國政府ヲシテ佛國人ヲ解雇セシメ之ト同時ニ日本人ヲ招聘スルヲ今日竊カニ清國政府ニ私言約セシムルヲ要ス加之將來福建ニ於テ軍事上經濟上若クハ行政上日本政府が必要ヲ認ムル場合ニ顧問官トシテ日本人ヲ入ルルヲ一條件トシテ豫約セザルベカラズ要スルニ福建省ヲ他國ニ讓與セザル誓約徒ニ他國ヲ占奪ヲ恐ルルニ非ス將來我日本ガ自カラ進テ大ニ支那南部ヲ經營セシムル期スルカ為ナリ故ニ余輩日

本政府ニ向テ以福建不讓與ニ誓約ニ篇ノ虚訪的政界ニ非スニテ實際
的事業多シト切望ス

又ルニ臨テ更ニ言ス聞カ如クナル今固我政府が總理衙門ニ向テ要求スル
福州ニ於ケル日本ノ居留地現任總督邊寶泉ノ異議アルカ事ニ未ダ邊カニ
協定ヲ見ルニ至ラズト云フ果シテ然ルヤ否マシ余輩未ク之ヲ知リ能ハズト邊
寶泉ガ平素外國人ヲ忌避シ外客ヲ輕侮シ頑固ニシテ人言ヲ容レガ政務ヲ執
ル切實ナク且已ニ老衰シテ用ニ堪ハザル余輩親シク知ル所ニテ福建ニ於ル事
業ノ發達カハルニ總督其人ヲ得カレト因テ故ニ我日本政府ニ福建不讓與
ノ誓約ニ對スル誓約効ヲ舉グルニ當テ第一ニ現任總督ノ更迭ヲ總理衙門ニ
向テ請求シ之ニ更夫ニ有識敢為經綸ニ當ル人ヲ以テシ又能ク日本ガ施
設スキ事業ヲ助成シ隣邦交誼ヲ全スル人物ニアラカレバ到底最後自
的ヲ達スル能ハザル也